

# 16春闘 支社要請行動

3月16日関東地本青年部は、「2016年度春闘満額回答と適正な要員配置を求める要請」行動を関東支社で行ってきました。



青年部からは、「今年度決算では計画を大きく上回る**50億超の経常利益を見込んでいる**中で、ベースアップが出来ないとは言語道断。職場では青年部員が最先頭で度重なる輸送障害や臨時列車の対応をしてきた。**離職率も会社の想定している範囲を超え、職場では欠員が常態化している**。青年部員のモチベーションが下がり退職が続いている

背景には、**鉄道事業部門の黒字化達成しか頭になく、将来ビジョンもロクに示すことが出来ない経営陣の姿勢が、青年部員を将来不安に陥れている**。この間の労苦にベースアップという形で応えるべきだ」と主張しました。

それに対して支社は、「**青年部員の皆さんには、職場から異常時も含め対応してきたことに対して感謝を申し上げたい**。貨物会社全体として収益が上向いており、ベースアップを求めている声と、職場の欠員状態が発生しているという事は承知している。支社として本社に伝える」と回答しました。

会社経営陣は現場で起きている実態を見向きもせず、「**ベアを出せる状況にない**」とベースアップ抑制に終始しています。要員不足の中、職場で限界状態に達している青年部員の努力に報いることは会社の責務です！経営陣のふざけた姿勢を許さず、職場から声をあげましょう！

## 経営陣は黒字ばかり見ないで現場を見ろ！